

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600424
事業所名	グループホームはなえくぼ江南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 設立からの経過年数と比例して、地域での認知度も高まり、近隣とは日常的に良好な関係である。散歩時や外出時の声掛けの継続で、馴染みの関係も出来、畑の農作物を「持って行って」と声をかけられたり、ホームに届いたり、孤立とは無縁の交流がある。また、小学校の街探検の受け入れ等、ホームができることで社会貢献を果たしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議開催がある。地域包括支援センター職員、民生委員、家族等、ホームをよく知るメンバーが、ホーム運営の報告、行事報告を通じ、意見交換を行っている。聴き取った意見や提案は、職員協議のうでで運営に反映させている	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 年に1回以上は市担当者の運営推進会議参加が得られ、ホームの実情を把握してもらっている。運営に関する相談や報告を通じて連携を図り、適切に助言や指導を仰いでいる。市からの要請には積極的に対応し、認知症部会等で協働している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 来訪時や連絡時、アンケート等で意見や提案を聴き取り、適切に対応している。かねてからのホームで支援する医療に対する不安に応え、ニーズを把握した上で、協力医を変更する体制変更に踏み切った事例がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	×	○	○	○	○	○	◎	